

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2019-19322(P2019-19322A)

【公開日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2019-005

【出願番号】特願2018-132872(P2018-132872)

【国際特許分類】

C 08 L 67/02 (2006.01)

C 08 K 5/42 (2006.01)

C 08 L 77/06 (2006.01)

C 08 G 63/688 (2006.01)

【F I】

C 08 L 67/02

C 08 K 5/42

C 08 L 77/06

C 08 G 63/688

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月11日(2021.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ジカルボン酸成分から誘導されるジカルボン酸モノマーウニットを有し、当該ジカルボン酸モノマーウニット中、スルホン酸基及び/又はスルホン酸塩基を有する芳香族ジカルボン酸成分から誘導される芳香族ジカルボン酸モノマーウニットの割合が10mol%以上であり、全モノマーウニットの物質量の合計に対する前記芳香族ジカルボン酸モノマーウニットの物質量の割合が5mol%以上45mol%以下である熱可塑性樹脂を含有する熱可塑性樹脂組成物の製造方法であって、

下記一般式(I)で示される有機塩化合物を混合する工程を有する熱可塑性樹脂組成物の製造方法。

(R¹-SO₃⁻)_nXⁿ⁺ (I)

(前記一般式(I)中、R¹は置換基を有していてもよい炭素数1~30の炭化水素基を示し、nは1又は2の数を示し、nが1のとき、Xⁿ⁺はナトリウムイオン、カリウムイオン、リチウムイオン、アンモニウムイオン、又はホスホニウムイオンを示し、nが2のとき、Xⁿ⁺はマグネシウムイオン、カルシウムイオン、バリウムイオン、又は亜鉛イオンを示す。)

【請求項2】

前記有機塩化合物を、前記スルホン酸基及び/又はスルホン酸塩基を有する芳香族ジカルボン酸成分から誘導される芳香族ジカルボン酸モノマーウニットの合計に対してモル比で0.005以上添加する請求項1に記載の熱可塑性樹脂組成物の製造方法。

【請求項3】

前記熱可塑性樹脂が、ポリエステル樹脂又はポリアミド樹脂である請求項1又は2に記載の熱可塑性樹脂組成物の製造方法。

【請求項4】

前記熱可塑性樹脂が、前記有機塩化合物を混合して前記ジカルボン酸成分とジオール成分又はジアミン成分とを反応させて製造される請求項3に記載の熱可塑性樹脂組成物の製造方法。

【請求項5】

前記有機塩化合物を、熱可塑性樹脂の重合時に添加する、請求項1～4のいずれか1項に記載の熱可塑性樹脂組成物の製造方法。